

総 会 発 言

総選挙を消費税減税、インボイス廃止選挙に

日本共産党衆議院議員

田村たかあきさん



私は、財務金融委員会に所属しています。10月1日からのインボ

ス制度の導入に、この増税計画は許さないという世論が急速に広がっています。今日ストップインボイスのオンライン署名をみたら、54万3000人を超えていました。9月4日署名提出集会があり、36万人でした。ものすごい勢いで、全国津々浦々からインボイスの問題が分かればわかるほど理解の声がひろがっています。

9月25日、国会前でインボイス中止を求める集会があり、10000人を超える人々が夜の総理官邸や国会をとりまきました。各界各層がスピーチする声は官邸に届いたと思います。10月からはじまるインボイス制度に、財務省や国税局はおいつめられています。導入後6年間は控除

期間があるが、この期間中に免税業者との取引で一方的な値引きをすれば独占禁止法違反になる可能性が極めて高い。公正取引委員会が摘発していきます。東京商工リサーチの企業アンケートの結果によると、「これから免税業者との取引はどうしますか」との質問に、「もう免税業者との取引はしない」と答えている会社が8・3%、「取引価格を引き下げる」をいれると12%になる。さらに「検討中」とこたえた企業が3倍になる。導入後、どうなるかわかりませんが、おそらく大きな混乱と不安が日本全国うずまいていくのではないでしょう。か。「消費税を5%に」にすればインボイスはいりません。「インボイスは中止する」、この2つの法案はすでに昨年の6月10日、日本共産党、立憲民主党、れいわ新選組、社会民主党の野党共闘でだしています。そして、この法案を支持する無所属の議員もいます。

岸田政権は内閣改造に踏み切りましたが、まったく顔触れが変わっていない。これでは政治は変わりません。毎日新聞の世論調査では、内閣

支持率が25%と過去最低で、不支持が倍以上になっている状況です。一方で軍事費は聖域。向こう5年間で43兆円にする。日本はアメリカ、中国に次いで第3位の軍事大国になつてしまします。戦争放棄を掲げ、武力行使を禁止した憲法のもとで、こんな軍事大国がいろいろあります。国防財源確保法、軍拡財源法が今度の通常国会で通りましたが、この中身は本当にひどいものです。国立病院積立金422億円、厚生病院の積立金324億円、中小企業むけ融資のお金2350億円などを軍事費に召し上げる。もうとんでもない異常な軍拡ではありませんか。

「消費税を廃止する」ことを展望し「当面5%に」、また「インボイスは中止」は、軍拡とのたたかいであるときみなさん声を大きくして多くの方に訴えていくではありませんか。臨時国会が10月20日から開始されるという連絡が入ってまいりました。ここで論戦をしつかり深めインボイス中止国会にしたい。総選挙では減税・インボイス廃止選挙に追い込んでいく、その決意で、論戦も選

税金は平和で豊かな暮らしのために
税金は応能負担原則にもとづいて

清家税理士事務所

〒537-0025 大阪市東成区中道三十五番十六
☎〇六（六九七二）一一二二三

中央会計税理士法人

税理士 山本 匡人

〒542-0086 大阪市中央区西心斎橋一五一五
☎〇六（六二四五）六三二五
FAX〇六（六二四五）六三二六

消費税は廃止し、
税金は応能負担にもとづいて

税理士 京阪パートナーズ

〒572-0084 大阪府寝屋川市香里南之町二八番二四号
トリーカンマンション香里園駅前二〇号
☎〇七二（八三三三）二八一一

税金は平和で豊かな暮らしのために
税金は応能負担原則にもとづいて

大阪総合会計事務所

所長・税理士 竹内 克謹

〒541-0043 大阪市中央区高麗橋二二一七
☎〇六（六二〇二）九二五二

中小企業家のための税金相談

神戸共同経理事務所

〒650-0011 神戸市中央区下山手通
☎〇七八（三六八）六〇五二
FAX〇七八（三六八）六九九三

挙も頑張っていく決意です。全国のみなさんと、力を合わせようではありませんか。

フリー消費税を中心にした活動を

大分の会 植田 淳子さん



消費税をなくす会は、会費のない会ですから、なかなかつながりが保

てないという悩みがあります。「フリー消費税」の読者がその要になると話し合っています。大分の会は、2005年に再建され、2020年まで毎年増勢できました。

今年の1月、3年ぶりに大門実紀史さんを講師に迎え、総会を開催。

総会では、入会と「フリー消費税」の購読を訴え、2人の入会と読者が増えました。今年の初め、複数の地域の会から減紙の連絡があり、早速常任世話人会で話し合いました。今年新しく会長になった人が「今業者は大変な思いをしている。訴えれば購読してくれる」と6人の読者を増やしました。総会や民商の総会で、購読の呼び掛けのチラシと見本紙を

配ることも力になったと思います。減ったらその分は増やしますが、現状維持がやっとです。

会報は、県の会や地域の会の財源になっていきます。配達は団体にまとめて届けていて、集金もお願いしていますが、個別集金が大変になってきていて、みんなと相談しなければと思っています。

消費税を下げしてほしいという声が大きくなり

日本民主青年同盟福島県委員長 七海 栞里さん



7月に「消費税なくす福島県の服部雅さんの会」の服部雅さんを講師に、県内の

同盟員つながりの青年に声をかけてオンラインで学習会をおこないました。そもそも消費税とは何なのかとお話しいただいたのですが、参加者から「消費税は消費者が負担するところが当たり前だと思っていたが、そうじゃないということに気づけてよかった」という感想がたくさん寄せられました。インボイス制度について、自分の身近な問題で「学べてよ

かった」という感想をいただきました。

この間、民青同盟の街頭宣伝で「あなたが政治に実現してほしい、求めていることはなんですか」とシールを貼ってもらって対話しています。

そのなかで「消費税を5%にしてほしい」という項目にシールを貼る人が増えていきます。私が住んでいる福島も車がないと、なかなか移動もできません。物価も上がり燃料が上がって、「暮らしが大変」で消費税を下げしてほしいという切実な思いがあると思います。実は「消費税は上がってもしかたがない」という反応も結構あったのですが、いまでは「消費税はゼロにしてほしい、なくしてほしい」と変わってきています。消費税の学習会や街頭宣伝でも、その場で仲間にもわかる経験がたくさんあります。

県会議員と3政令市会議員候補にアンケート

神奈川の会 上野 達也さん

月一回必ず発行しているニュースでは、県の活動だけでなく、県内各地域で独自に奮闘している取り組み

CHIIHIRO CALENDAR

いわさきちひろカレンダー

世界中のこども みんなに
平和としあわせを

このいわさきちひろのねがいをこめて、
いわさきちひろカレンダーは、手から手へ、
心から心へ、ひろがっています。



いわさきちひろ作品普及会

税理士法人総合会計

代表社員・税理士

税理士

中村 聡

税理士

金巨 功

税理士

島瀬 英幸

〒754-0002

山口県山口市小郡下郷二一九三二二

☎〇八三(九七三) 八三三六

消費税フリー！

税理士 第一経営共同経理

代表社員 税理士

田中 芳幸

社員 税理士

荒尾 壽味雄

〒861-1305

菊池市北宮三二 七一二五

☎〇九六八(二五) 一〇三六



を紹介しています。

また、県民に見え
る活動として、毎
月宣伝を実施する

と決め、継続した取り組みになって
います。この暑い8月には、街頭宣
伝のビラを見て「会に入会したい」
と連絡があるなど、宣伝の効果に加
え、みなさんのなかに消費税減税の
要求が強いことを実感しています。

4月の統一地方選挙では、県議会
と横浜・川崎・相模原の3政令市議
会の候補者344人に、消費税減税
とインボイス中止を争点にしよう
と、賛否のアンケートを実施しまし
た。約2割(72人)から回答があり、
1人でしたが、自民党候補者からも
賛成の回答があるなど、運動のひろ
がりを感じました。さっそく選挙前
のニュースで知らせました。選挙後
は、日本共産党の地方議員全員に「消
費税をなくす会」加入の案内を送り、
3人の加入と「ノー消費税」の購読
につながりました。今後はホーム
ページの再開やネットやSNS上の
みえる化に取り組みたいと思います。

毎月「日曜日」で宣伝

高知の会 島崎 保臣さん



高知県の会では
観光客などでにぎ
わう「日曜日」の
ど真ん中で毎月、
街頭宣伝を行い、県各界連の24日宣
伝にも参加しています。地道に訴え
続けることの大事さを感じながら宣
伝を継続し、地域の「なくす会」結
成も重視しています。

10月に全国から注目されている参
議院補欠選挙が行われます。消費税
減税を絶対にやろうとしない岸田政
権に「ノー」の声を突き付ける絶好
のチャンスです。候補者の広田一さ
んはトーク集会で「岸田政権に増税
の資格なし。きっぱり対決します」
と応じてくれました。自民党の続投
を許さず、新しい政治を始めなくて
はなりません。

あきらめたら政府の思うツボ

北海道の会 富堂 保則さん

インボイスを通じて消費税が多く
の問題点を抱えた欠陥税制であるこ
とが明らかになり、「消費税なんて



を追うごとに増えています。

消費税の本質と問題、本来の税制
を憲法や私たちの営業と暮らしから
つかむことが大切です。

10月以降もインボイス反対の運動
を進めることが重要だと訴えていま
す。あきらめたら政府・財務省の思
うツボだからです。消費税をなくす
ことが景気回復にも商売を大きくす
ることもつながることを広く知ら
せ、確信にしていきたいと思いま

憲法を守る総理大臣に変えよう

埼玉の会 内川 幸一さん



岸田首相は戦争
を始める準備をし
ています。憲法を
守る総理大臣に変

えなくてはなりません。

総会に来る前に神田の古本屋通り
で「総理大臣が戦争を始める準備を
しています。とんでもないことです。
戦争に反対し、岸田首相を辞めさせ

ましよう」と呼びかけてきました。

美空ひばりの「一本の鉛筆」の歌
詞の中に「一本の鉛筆があれば、戦
争はいやだと書く」というフレーズ
があります。皆さんも歌ってほしい。

国連決議に基づいてロシアのウク
ライナ侵略をやめさせ、消費税は減
税ではなく廃止。憲法が輝く日本を
つくるのが私の生きる希望です。

海洋放出に満身の怒りこめ抗議

福島会の 服部 雅さん



岸田政権が「関
係者の理解なしに
いかなる処分もし
ない」との約束を

反故にし、国民・県民の理解がない
まま、漁業関係者の反対を押し切り、
海洋放出を強行したことは、県民の
復興への努力を台無しにする歴史的
暴挙であり、満身の怒りを込めて抗
議します。「なくす会」も参加する「ふ
くしま復興共同センター」は広範な
県民と力を合わせ、海洋放出強行に
反対の声を上げました。

民青の仲間とも学習・交流してい
ます。青年は岸田政権の悪政の中で

大企業、アメリカ言いなりの政治に変わる新しい政治を模索しています。引き続き、交流を深めたいと思います。

会報を分担し手配り・集金

和歌山の会 吉田 小雪さん



毎月一回和歌山駅前と橋本市で宣伝行動。橋本市は19年設立の「10%

ネットワーク」が今も宣伝を継続し、前半は消費税減税、後半は憲法9条を守れと毎回20人近くが参加。和歌山駅前には県の会が各界連とともにビラを入れたティッシュペーパーを配布しながら署名宣伝行動。

常任世話人会は事務局長以外女性ばかりで、毎月にぎやかに開催。何でも言える会として、定着しています。数年前から「ノー消費税」を送から手配りに切り替え、常任世話人で配達集金し、この還元金が財政活動の大きな支えです。

事務局長が毎月の行動している写真いっぱい、のニュースを作り、「ノー消費税」に折込み、読者から「和歌山でも頑張っているね」と喜ばれて

います。

国民が税金問題に関心が持てるよう「これでいいのか、日本の税金」のようなパンフレットも検討してほしい。

総会で大門さんの講演DVDを学習

青森の会 猪俣あや子さん



毎月世話人会を開き、24日前後に各界連・青森民商となくす会の6

8人で宣伝署名行動。デパート前で行っていますが年々人通りが少なくなり、署名数も減っています。先日、総会を開催し、大門実紀史さんの講演DVDで学習後、活動報告。月一回の宣伝の他に何かできないか、今後の課題です。会報の還元金のおかげで、財政の心配をせずに活動できています。

各界連加盟の各団体はごも会員・役員の減少、高齢化、弱体化に悩みながらの運動で、共闘の課題に人手をさげにくくなっていますが、なくす会は消費税増税反対・廃止をめざす個人の集まりなので、運動そのものが自分の要求であることが強み。会

員・読者が減った分、増やすよう努め、約100人の読者を維持し、会報に読者だよりを入れて配布しています。

唯一の情報紙の

拡大目標・期日を明確に

富山の会 藤田 政治さん



相次ぐ物価高、猛暑による野菜の高騰などで庶民の生活は大変ななか、

インボイス実施、軍事費拡大、社会保障削減など悪法の強行は許せない。「消費税なくせ・当面5%減税、インボイス廃止、岸田政権NO!」の声を広げ、実現させるため「ノー消費税」の読者を増やそう。なくす会発足34年、会員も会報読者も高齢化し、読者を増やす取り組みをおろそかにすれば減少する。富山ではこの1年間で14人の読者を増やしたが、数人の購読中止があった。3月の世話人会で改めて「消費税のことを知らせる唯一の情報誌」であることを参加者全員で確認し、宣伝紙を取り寄せ読者拡大に取り組んだ。「ノー消費税は、宣伝・扇動・組織者」であ

り、日常の活動を豊かにすすめる羅針盤。拡大目標と期日を明確にして早く5000人の読者を回復しよう。

読者75人に世話人が手渡し

東京・東大和の会 堀口 國雄さん



6月に出された政府税制調査会答申では、租税原則に「十分制の原則」(国家の財政需要を満たすのに、十分な租税収入を確保)を記載。ドイツの学者ワグナーの理論です。最終的には、増税になるということ。消費税について、従来否定していた逆進性を認め、累進性は付加すべきと述べていることは私たちの運動の成果とみたい。9月に19人の参加で答申の学習会を開催しました。

東大和の会は、会員名簿の整備、世話人会の定例化、署名宣伝行動を毎月開催、会報ニュースを年4回発行し会報読者75人に世話人が手渡し。会報拡大は活動を生み出す財源として取り組み、この間、2人減紙となりましたが、昨日、電話で2人増やし現状復帰して総会に参加しました。

「継続は力」と33年間毎月宣伝

熊本の会 西川 悦子さん



コロナ感染者が増えた3年前から毎月24日の宣伝は頑張ろうと33年

間毎月消費税廃止各界連絡会と協力してスタンディングを行ってきました。会員の高齢化などで熊本市以外の活動ができていないのが残念ですが、コロナ禍も5類になったということで今後も取り組みを強めていきたいと考えています。9月4日にインボイス制度中止・延期を求める署名提出時の記者会見での農民連、長谷川会長は、「赤字で米も牛飼いても所得税が払えないのにインボイスで消費税をむしり取られる農家イジメのインボイス制度は中止を！」と訴えておられます。アンケートを行ったら、涙ぐましい節約をしても「年金では暮らせない!」「節約も限界」などの声が寄せられ、消費税は5%にの声があがりました。「継続は力なり」、声を上げ続ける事が大事だと思います。全国のみなさん。これからも頑張りますよ。

課題ばかりで大変ですが頑張っています

大阪の会 田中 一喜さん



昨年11月に総会があり事務局長に就任しました。

前回の総会はフーリスの方と消費者の方の代表に来ていただいて、とても良い総会となりました。今度の総会もそうしようかと考えています。今年9月16日、なくす会主催で軍拡と増税というテーマで学習会を行いました。軍拡は日本共産党の小泉さん、増税はなくす会担当で二人の講師で行いました。参加は主催者含めて28人の参加でした。結構面白い学習会でしたので来年もやりたいと思っています。いろんな団体と一緒に宣伝をやっていますが、消費税をなくす展望をみんなに示しているのか不安です。この展望をきちんと示していかないと若い人たちに響いていかないのではないかなど課題ばかりですが答えはまだわかりません。こんな現状ですが、明日交流会があるので勉強して帰りたいと思います。

後継者をつくり活動をたいせつに

香川の会 高松 信子さん



香川では消費税の廃止、インボイス制度の中止を目指すして署名を集め

たり、議会への陳情や請願活動に取り組んでいます。9つある私たちの草の根の活動を報告します。全国の会から来た文書はしつかり読んで学習、24日の署名・宣伝行動は毎月取り組んでいます。会報は減ったらそれぞれのネットワークですぐに増やすということにしています。各団体で学習会を行うようにしています。宣伝カーなどが来ると皆さん集まってくるのでそこへパンフを持って行って次々買ってもらうということをやっています。いい作戦だと思っています。最近若い専従者が参加してきましたので仕分けを一緒にやったり遠方の読者への手渡しなどをやってみようとしています。後継者をつくっていくという活動が私たちには大切かと思っています。コロナ禍で総会も開けませんでしたので開催したいと思っています。特に若い後継者

前任者の後を受け継いで

京都の会 平井 一二三さん



一年半ぶりに開かれた総会で代表となりました。

京都の総会には大阪から清水ただし前衆議院議員に記念講演、インボイスの分かりやすい説明と消費税5%から廃止へのプロセスと展望について話していただき、確信が持てる内容でした。世話人会で運動の先頭にいた藤田洋事務局長の後を受けて、これまで続けてきた月一回の街頭宣伝行動を死守することを決めました。街頭宣伝の予定を決めるため月一回の常任世話人会を開くこと、それが定例化にもつながり「ノー消費税」と京都で発行している通信の拡大にも意識的に取り組めてきたかなと思っています。先日9月24日の定例宣伝行動は総勢13人が参加しにぎやかに行われました。この宣伝で「ノー消費税」の

読者が1人増えました。また、「インボイスのことを勉強したい」と新パンフを求めてきてくれた若者が2人いました。この間総会で新しく常任世話人になった若い人がネットの利用やホームページの作成などを積極的に手伝ってもらえるようになっていきます。

各界をインタビュー・ニュースに



埼玉の会 川嶋 猛さん

埼玉では川口芝各界連絡会と蕨市つかごしの会の駅頭宣伝、深谷市のウォーキングアピールなどが粘り強く行われています。埼玉の会はニュース発行や平和運動に参加。県内各界をインタビューしニュースに掲載。この1年はインボイスの影響を取材、造園業、フリーアナウンサー、個人タクシー等から切実な声が寄せられました。民青同盟員にもインタビューし高学費、仕送りの減少に物価高も追い打ちをかけていると。取材を受けた専従3人が入会。インボイス中止の請願は本庄市、羽生市、滑川町、

神川町議会で延期・中止が採択。悩みは担い手を広げられないこと。「ストップインボイス」では多くのフランスが声をあげている。自分で運動を起こしたい人たちとどうつながるか、議論して広げたい。

真実を伝え、希望を示す活動



兵庫の会 富士谷香恵子さん

会は「ノー消費税」読者10年前の12人から現在24人ですがもつと増やしたいです。パンフは200部普及。毎月24日11時から12時にJR垂水駅で宣伝しています。昨年10月からシール投票に取り組み「インボイスは絶対あかん」と次々と反対のシールが貼られ反響の大きさにびっくり。この1年間で10回の宣伝にのべ85人が参加、署名は236人。継続は力と頑張っています。今春の統一地方選挙後は岸田政権への怒りの声とともに署名が増え、激励が寄せられています。私たちの行動は、真実を伝え、希望を示す活動です。黙っていたら、行動しなかつ

第34回総会の成功を祝し メッセージを寄せて いただいた団体・組合

全日本教職員組合／全国商工団体連合会／全国生協労働組合連合会／全国保険医団体連合会／国土交通労働組合／非核の政府を求める会／全日本民主医療機関連合会／全国生活と健康を守る会連合会／日本国家公務員労働組合連合会／新日本婦人の会中央本部／日本民主青年同盟／農民運動全国連合会／自由法曹団／日本自治体労働組合総連合／全日本建設交運一般労働組合／日本婦人団体連合会／第68回日本母親大会実行委員会／全国労働組合総連合／主婦連合会／婦人民主クラブ／JMITU（日本金属製造情報通信労働組合）／全日本年金者組合

討論のまとめ

前沢 淑子 事務局長

総会参加者は、会場に57人、オンライン30カ所38人の95人でした。

「今年ほど怒りを持って参加したことはない」（北海道）と、10月1日インボイス導入の緊迫した情勢のもとで開かれた総会でした。各界連中山事務局長の連帯あいさつ、田村貴昭衆議院議員（全国世話人）をはじめ大軍拡・大増税を突っ走る岸田政権のもと「なくす会」の活動が今ほど求められている時はない！が強調されました。「パンフで学習会開催。シール投票で『消費税減税』を選ぶ青年が増えた。くらしが大変、消費税ゼロにして欲しい」の声が寄せられ、仲間になる人も」（民青・福島県委員長）、「NO消費税」が運動の中心に」（大分）など21人（文書3人）が発言しました。討論を通して、①定例宣伝、②役員会の開催、③会報の拡大・活用、④ニュース（読者だより）発行が会の活動の基本、「継続は力、会報は減ったら増やす。年内5000人達成へ力を合わせよう」を確認しました。

たら、政府はアメリカいいなり、財界いいなりに大増税、くらしと平和を壊してしまいます。ともに頑張りましょう！

閉会のあいさつ

常任世話人 梅村さえこさん



高騰で本当にたくさんさんの悲鳴が全国

ご参加の皆さん
3時間半にわたる
活発な議論本当に
お疲れさまでした。
今回の総会は物価

総会で選出された常任世話人

(五十音順 敬称略)

天野 武 梅村さえこ
上野美知代 大川 博
上敷領千枝子(新) 川嶋 猛(新)
木口 力 きしの知子
服部 雅 林 幸二
藤原 紀嘉
前沢 淑子(事務局長)
松田 周平 向井 初江
吉田 孝喜 若杉 秀夫(新)
渡辺 清志

退任された常任世話人

大島秀夫さん 手塚守夫さん
西本光男さん

津々浦々で上がる中、そして明後日にはインボイス増税を許すかどうか、またこの秋解散総選挙があるかもしれないというこれまででも最も緊迫した情勢の下で開かれた歴史的な総会になったと思います。

この会議での教訓を力に3人寄れば草の根で対話を広げ「ノー消費税」読者を増やし、消費税ノー、インボイスノーの審判を下す総選挙にしていきたいと思います。

今日の「しんぶん赤旗」にありますが日本共産党は「日本経済の再生プラン」を発表しました。失われた30年を打開し、40兆円規模の積極予算を提案し、この財源も新しく示すというのが特徴です。私も総選挙の候補者として再び国会に戻って常任世話人として消費税ノーの追及ができるよう、来る総選挙では全力で頑張りたいと決意をしているところです。

「消費税をなくす会」の出番の情勢です。先ほどもまとめにありましたように明るく楽しく粘り強くお互い体に気を付けながら消費税をなくす日へ大きな前進をつくる一年にしていきたいと思います。

退任あいさつ

神奈川の会 手塚 守夫さん



張るといふ思いでやってきました。

今こそ国民の自覚と力で新しい政治を切り開く時です。消費税をなくす運動は死ぬまで皆さんと一緒に続けます。

「なくす会」結

成の時から34年間、活動に関わり、何年かろうと消費税をなくすまで頑

京都の会 西本 光男さん



65歳から17年間、常任世話人として活動してきました。三菱重工で工作機械を作っていました。

した。消費税は党派を超えて大きな運動ができるというのが、活動の出発点でした。消費税は本当に大変な税金であることを実感しています。引き続き、消費税をなくすため、地元で頑張ります。

事務局交流会

総会の翌日は3年ぶりに事務局交流会を開催し12都道府県の会が参加、「第1回総会開催の原点に戻って頑張る歴史的な情勢」と、各県の活動を交流しました。「総会で世代交代を実感。どう後継者をつくるか」「明るく、楽しく高齢者も青年も頑張る草の根の会が選挙での岸田政権打倒の力に」「SNSでの発信を」「地方選挙前のアンケートでは『消費税減税がトップ』、出番の情勢にふさわしい会になっているか。とりあえず街宣から」「会員がつながっているのは会報に織り込む『県の会ニュース』」などの発言を通し①出番の情勢にふさわしい活動を広げ、②後継者を育てながら、③全世代型の活動を改めて確認しました。